

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 5 月 7 日

評価対象事業	文観	-	20	観光施設整備事業				☐ 法定受託事務	
所管課	観光課				評価者	観光課長 中澤 準			
一般	会計	款	40	項	05	目	10		
総合計画上の位置付け	分野名	観光			施策の方針名		観光基盤の整備・充実		

1 事業の目的

対象	観光客等	意図	観光基盤施設を整備し、観光客が安全で家庭機に観光できる受け入れ環境の整備を図るため。
効果	観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につなげる。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業 （事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	観光施設整備事業	観光施設整備事業	観光施設整備事業
予算額（千円）	31,704	52,086	
国県支出金	12,596	836	
地方債			
その他			
一般財源	19,108	51,250	0
当初人員配置数	1.0	1.0	0.0
人件費（千円）	8,537	8,826	0
事業実績	観光施設整備事業		
決算額（千円）	249,242		
国県支出金	212,311		
地方債			
その他			
一般財源	36,931	0	0
人員配置実績数	1.0	1.0	0.0
人件費（千円）	8,283	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
						(上段実績、下段経費（千円）)		
活1	指標名	公衆トイレの新設及び改修(機能保全等の軽微な工事を除く)箇所数	箇所	1	⇒	0		
	実績につながる活動	委託等によりトイレの新設及び改修(機能保全等の軽微な工事を除く)を実施する				0		
活2	指標名	観光看板の新設及び改修箇所数	箇所	3	⇒	4		
	実績につながる活動	委託等により看板の新設及び改修を実施する				2,339		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	なし
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	毎年度の破損状況や老朽化の状況によって改修箇所数は増減するものの、昨年度は老朽化した箇所があったため、4箇所を整備した。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No (最大3つ)
成1	観光旅行者の鎌倉市再来訪意向率	%	88.4	90	95.97			1 2

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	なし
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	観光客の受入環境が維持されていることにより、再来訪意向率が高まった。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	公衆トイレの適切な管理や看板の適切な場所への設置等により観光客の受入環境が維持され、再来訪意向率が高まった。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☐ 国・県	☐ 民間事業者 ☐ なし
	有効性	事業の成果	☐ 十分に出ている	☒ 概ね出ている	☐ 出ていない
	効率性	事業費削減余地	☐ ある	☒ なし	
		関連・類似事業との統合	☐ できる	☒ できない	
	公平性	受益者負担	☐ 導入済	☐ 導入予定	☒ 導入できない
方向性	評価実施年度の方向性		⇒ 評価実施翌年度以降の方向性		
	事業内容の方向性	☒ 事業内容は現状通り ☐ 事業内容は見直し済 ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ 他事業と統合済	⇒	☒ ① 事業内容は現状通りとする ☐ ② 事業内容は見直す → ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する → 事業へ統合	
	予算規模の方向性	☒ 予算規模は現状維持 ☐ 予算規模は拡大済 ☐ 予算規模を縮小済	⇒	☒ ① 予算規模は現状維持とする ☐ ② 予算規模は拡大する ☐ ③ 予算規模は縮小する	

今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応	結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果	前年度は新たな課題なし		
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題	新たに認識された課題はなかった		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性	新たに認識された課題はなかったため検討なし		
総評	受け入れ環境の整備による、再来訪意向率を高めるため、各施設について計画的に維持修繕を行うとともに、突発的な修繕にも対応できるよう、修繕予定箇所の優先順位付けを行う。また、施設整備に係る受益者負担の手法を検討する。			上位施策への寄与度
				A

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方		自治体の規模等に応じて適切な観光施設数は異なることからベンチマークを定めていない。							